

# 『気候変動評価レポート2020』（仮称） レポートの名称（案）について

※「気候変動評価レポート2020」と「気候変動影響評価報告書」

**気象庁**

# 「気候変動評価レポート2020」（仮称）の名称について

- 「気候変動評価レポート2020」（仮称）とほぼ同時期に、環境省から「気候変動影響評価報告書」が公表される。
  - 文部科学省より、名称だけでは区別がつかないと指摘あり。
  - 気象庁内においても、組織改編に伴う業務説明を本件を知らない者に行った際、複数回の混同・混乱が発生。
- 混乱は、「なぜ文科・気象と環境省は、同種のを同時期に別々に発表するの？」という疑問から。原因は「気候変動影響」の言葉の範囲の定義。「気候変動」と「気候変動影響」の違い。理解していないと、ほぼ混同・混乱する。
- 「気候変動評価レポート2020」の名称を変更したい。



**（案）「日本の気候変動2020」**  
**副題：大気と陸・海洋に関する観測・予測評価報告書**

**【評価検討部会からのご意見】**

- 日本についてまとめたことが本レポートの特徴の1つ。
- 報道されるためには、名称は短い方が良い。
- 「気候変動影響評価報告書」を意識したものに。

- 「日本の...」とする。
- メインの部分は短くする。
- 副題を「○○評価報告書」の形とし、○○の部分は本レポートで扱われる内容が分かるものとする。